

## 第1学年「きらめきタイム」学習活動案

日 時 平成17年10月5日（水）2時間目

場 所 3階 音楽室

学 級 1年B組 男子16名 女子11名 計27名

指導者 教諭 佐藤智子

### 1 単元名 「私たちの郷土～ふるさと室根を見直そう～」

### 2 単元のねらい

本単元のねらいは、私たちの“郷土”について、より深く知り・考え・調査する活動を通して、「ふるさと室根」のよさ、ふるさとが抱えている問題などに気づき、郷土の姿について考える力を身に付けることである。もう1つは、スキル学習を生かして課題設定・解決学習に取り組み、学習するための基本を身につけることである。

学習にあたっては、まず、生徒たちが普段何気なく過ごしている身近な郷土について、さまざまな視点から情報提供をし、課題の見つけ方を学び、各自の興味・関心に合ったテーマを見つけられるように進めていく。その際、ゲストティーチャーを活用したり、実際に体験させたりしながら、興味を持って学習に参加する態度を養いたい。また、学習を進める中で出てくる生徒の感想から、分からないことや興味を持ったことに着目させ、自ら課題を発見しようとする態度を養いたい。

調査の段階では、収集した様々な情報の中から自分に必要な情報を見つけ、活用しながら自分の考えを伝えることができるように援助していきたい。

また、みんなの発表を聞き合い、興味を持ったことや分からないことを質問・意見として出させながら、学びに終わりはないこと、身の周りにはたくさんの疑問があることに気付かせ、郷土への興味・関心を広げていけるように学習を進めていきたい。

### 3 単元について

#### (1) 生徒について

これまで、スキル学習を中心に学習を行ってきた。スキル学習の時間は、テキストを利用し、テーマ設定の見通し、文献調査、課外活動（アポイントメント～礼状の書き方）、記録、まとめ、発表までの基本的なことを学習してきた。このときのテーマは、地元の「室根大祭」について班ごとにまとめ、学習の成果を発表した。

2学期は、このスキル学習を基に、ふるさと室根について教師が様々な角度から情報を提供し、生徒は課題を発見し、調査・研究していくことになる。小学校でも、自然や産業などを学んできたが、郷土芸能についてはほとんど触れていない。事前に行ったアンケートの結果、郷土芸能に興味があると答えた生徒はほとんどなく、関心がないに等しい。また、室根のイメージは室根山や室根大祭が多く、伝統芸能の分野は生徒達の意識の中には存在していない。

このように、一方的な角度からの見方ではなく、様々な角度から情報を提供し、ふるさとを見つめていき、郷土への関心とふるさとを大切に思う心を持った生徒を育成したい。

#### (2) 単元の構想について

学年テーマ「私たちの郷土～ふるさと室根を見直そう～」に迫るために、室根を知る手がかりとして「郷土芸能」「室根の食」「室根デザインマップ」で情報を提供し、調査研究を経て自分なりの考えをもつことを目指している。

最初の9時間は、課題発見学習で、学年テーマを達成させるための情報提供の場となる。

ここでは、3つの窓「郷土芸能」「室根の食」「室根デザインマップ」から室根の郷土の情報を教師側から問いかけ、疑問を持たせたり、より深く興味・関心を持たせ、次時へのテーマ決定の段階へと導きたい。

課題追求場面では、それぞれ興味のあるテーマのもと、課題を設定し、より深く調査していく。収集した情報の中から、自分の考えを伝えるために適切な資料を選んでまとめることができる力を身につけさせるように、学習を展開していきたい。学級発表を経て、学年でも発表会を設け、郷土を知る機会としたい。分からないことや興味をもったことに関して、自分なりの考えをまとめさせていきたい。

全体を通して、1学期に行ったスキル学習を生かして、課題解決学習に取り組み、学習するための基本的な力を身につけ、「私たちの郷土」を知り、郷土の良さや問題を考えさせていきたい。

### (3) 活動計画と評価規準 (総時間数 28時間)

学習の段階	時数	活動内容	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
課題発見 (本時 6/9)	9	室根を様々な角度から探る。	郷土に興味・関心を持ち課題設定へとつなげようとしている。			学んだ内容がどのように「郷土」とかかわっているか知ることができる。	
課題追求	課題設定	2	グループ編成 テーマ決定	興味・関心に基づいたテーマを選択し、課題を発見しようとしている。			「郷土」について考えながら、自分のテーマを作ることができる。
	本調査	6	テーマに基づき、個人やグループで調査活動をする。	積極的に調査・研究に取り組もうとしている。	様々な情報を整理することができる。		
	まとめ	6	集めた情報を発表に向けてまとめる。	情報収集の選択やまとめを意欲的に取り組もうとしている。	集めた情報の中から必要な情報を選択することができる。	集めた情報を整理し、まとめることができる。	調査内容を理解できる。
	発表	4	学級・学年発表をする。			わかりやすくまとめて、情報を発信することができる。	
	評価	1	学習活動を振り返り、郷土を見つめなおす。	次の課題への意欲を持ち、地域に関心を持つようとしている。			郷土を新たな視点から理解できる。

## 4 本時の活動

- (1) 活動名 「室根の郷土芸能を探ろう」
- (2) ねらい 身近な郷土芸能に興味、関心を持つ
- (3) 評価規準と支援

観点	評価規準 「評価方法」	支援を要する生徒への手だて (支援方法)
関心・意欲・ 態度	郷土芸能に興味を持ち、積極的に参加し ようとしている。「観察法」	一緒に体験活動をして、活動の援助 をする。

(4) 展開

段階	形態 時間	学習活動 (○)	指導上の留意点 (・)	評価 (◆) ▽支援を要する生徒 への手だて
導入	一斉 (3)	1 前時までの流れを確認する。 2 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">室根の郷土芸能を探ろう</div>		
展開	小集団 (10)  個人 (3)  個人 (10)  一斉 (5)  一斉 (15)	3 各地域の郷土芸能を知る。 ○5つの地域ごとに代表者1名が 発表する。  4 VTR鑑賞をする。 ○うちばやし、神楽、鹿踊りの映 像をみる。  5 楽器や道具を観察する。 ○神楽太鼓、チャパ(鉦すり)、衣 装、道具をみる。  6 歴史的背景を知る。  7 ゲストティーチャーの踊りと 話を視聴する。 ○ゲストティーチャーの田植え踊 りをみる。 ○ゲストティーチャーの簡単な話 を聞く。	・地域ごとに分けて 発表を板書する。  ・うちばやし、神楽、 鹿踊りの映像をみせ る。  ・神楽太鼓、鉦すり と神楽、鹿踊りの衣 装を紹介する。 ・教師が演じてみせ る。  ・教師が神楽、鹿踊 りの歴史を簡単に紹 介する。  ・ゲストティーチャ ーを紹介する。 ・ゲストティーチャ ーの話の観点 ①いつ頃から踊られ ているのか ②踊っているときの 楽しさ ③伝統芸能の継承	◆身近な郷土文化に 関することに興味を 持とうとしている。 (関・意・態) ▽実際に触れさせ て、興味を促す。
終末	(4)	8 まとめをする。 ○今後の活動もふまえてまとめを する。	・次の課題設定へつ ながるようなまとめ をさせる。	